

分野：②

## 学校の自然たんけん

環境アドバイザー

貴家 章子

対象 川口市立芝西小学校 3年(120人)

所要時間 1時間30分



場所 川口市立芝西小学校

実施時期 令和4年6月10日

## 概要

自然と非自然を分けて考えさせる。  
芝西小ビンゴを実施。いろいろな形、色、手触りのちがいに気付かせる。  
ミッションカードの実施。植物の様子の違いに気付かせる。  
学校の草木の見方が変わり、名前だけでなく特徴に気付かせる。

プログラムの  
ねらい

1. 生物を自然のものと自然でないものに分けることができる。
2. 芝に小ビンゴを通して、普段見落としている自然に気づくことができる。
3. ミッションカードを通して、生物の特徴に気づくことができる。
4. 身の回りの生物を調べようと意欲を持つことができる。

## プログラムの内容

## 1 自然のもの自然でないもの(20分)

提示した動物や植物を自然のものと自然でないものに分けてみる。

(ヒントとして飼育されたものや栽培されたものは、自然のものではない。)

## 2. 芝西小の自然を探検(50分)(5分休憩)

## ①芝に小ビンゴ

ビンゴカードのそれぞれの形や色などの特徴を16個見つけ出す。

(4×4=16マスにそれぞれに問題が書かれている。)

## ②ミッションカード

配られた写真の植物を学校の中庭を歩いて探し出し、観察しその特徴を記入する。名前がわかればそれを記入。質問されれば植物の生活場所のヒントを与える。

## 3. 自然探検のまとめ(20分)

- ・昆虫とその食草。(モンキチョウの幼虫はシロツメクサを食べるなど。)
- ・生き物が生きれる条件を3つ答えることができる。(水、食べ物、すみか)

上谷沼の紹介

## 受講者の反応

- ・自然については、園芸種を考えたことから、自然でないものを理解する児童が多かった。
- ・中庭などの実習では、ほとんど全員が意欲的に活動していた。熱心に用紙に書き込む姿が見られた。
- ・生き物に対してもっと知りたいという感想が多くあり、実習の大切さを実感した。

## 環境学習の様子



これは自然のものですか。  
それとも自然でないもの  
ですか。

えーとこの植物は〇〇  
で、特徴は・・・



生物が生きていくのに  
必要なものは何ですか。

## 活動報告レポート

アドバイザー氏名	高村 裕美
実施日、時間	令和4年10月5日(水) 13:40 ~ 14:25 他
実施団体	上尾市立中央小学校 1年生
対象者(人数)	101名
実施場所	上尾市立中央小学校 1年生 教室
講座等の名称	虫とわたしたちの生活
講座等の分野※	生態系・生物多様性
活動内容及び 受講者の反応	第1学年生活科単元「いきものとなかよし」の学習として、各学級1コマ(45分)の授業を行いました。10月5日(水)5時間目に1年1組、10月7日(金)3時間目1年3組、4時間目1年2組にて実施しました。児童は、虫の写真や植物の写真を見て「これ知ってるよ!」「見たことある!」と元気よく興味を持って話を聞き、積極的に発言していました。授業後の感想用紙には、「虫さんがかぶんをはこんでいるとしらなかった」「虫さんがこんなにたくさんおしごとをしているとわかった」「虫はきれいだったけれど、虫にありがとうと言いたい」「虫や小さないきものをたいせつにしたいです」という声が多くありました。

# 活動写真

環境学習 上尾市立中央小学校 1年生 10月5・7日

